

利用者団体からの意見に対する回答について（あすなろ療育福祉センター）

番号	区分	項目	意見	回答
1	診療部門	リハビリの予約	・ ネット予約を導入してはどうか。	＜予約対応の変更は難しい＞ 以下の点から、ネット予約の導入は難しいものと判断している。 ・ 通常、リハビリ来院時に次回の予約を入れることとしているが、受診時に決められない場合や、時間変更が生じた場合は、電話で希望時間と担当療法士の空き状況を確認しながら調整が必要であること。 ・ 主な受診対象者は肢体不自由児や重度心身障がい児で、誰でも予約できる医療機関ではないこと。 ・ 患者毎に担当の療法士を決めており、時間毎に単純にリハビリ枠を当てはめることはできないこと。 ・ 複数の療法を併せて受けている方が多く、各療法間のリハビリ枠の調整が複雑であること。 ・ 受診希望時間帯が重なることが多く、また、体調不良によるキャンセルも多く発生しており、その都度都度の変更調整等が頻繁に必要であること。 ・ 使用機器が同じ患者の枠が重ならないための調整や、リハビリ所要時間の延長が必要な患者の枠調整なども生じていること。
2	入所部門	面会時間	面会時間が15分と短い。以前の30分に戻してほしい。	＜段階的に長くしている＞ ・ 新型コロナの流行以降は15分としてきたが、昨年10月から30分とし、その後、新型コロナの感染拡大を受けて一時的に再度15分に短縮したものの、今年3月から30分に戻し、更に8月からは1時間に延長している。 感染拡大時には一時的に短縮もあり得るが、引き続き入所者や家族の利便性向上に努めていく。
3	全体	問診票	入館時の感染症対策問診票の継続に疑問。多くの施設では廃止済み	＜平時の感染対策として現在の対応を継続する＞ ・ あすなろの利用者は、感染症に罹患した際に重症化しやすい方が多く、自身がマスクを着用できる方も非常に少ないため、利用者以外の方に対して、ウイルスの持ち込みを未然に防ぐ感染防止対策を適切に行う必要がある。 ・ 当センターの医師や看護師等で構成する感染症対策委員会において、新型コロナに限らずその他の感染症への対策のためにも、現在の対策は流行していない平時の対策として継続が必要と決定しており、御理解、御協力をお願いする。